

大蔵・舞子海岸における開削調査状況報告及び対策工法の検討を行います ～10/24 第3回 大蔵・舞子海岸の空洞対策検討委員会を開催～

東播海岸では、海岸保全施設の定期点検において、舞子海岸の一部の区域で空洞が発見されたことから、同区域および同区域の構造と類似する構造※¹の区域について、点検が完了し利用者の安全確保が確認されるまでの間、立ち入り制限をおこなっています。

これらの区域について、安全性確保に向けた空洞化対策工事を実施し、安全に利用いただけるよう、「大蔵・舞子海岸の空洞対策検討委員会」において技術的助言をいただき検討を進めているところです。※²

第3回委員会では、前回委員会における技術的助言を踏まえた調査状況等を報告するとともに、空洞箇所毎に応じた対策工法の組み合わせを検討するうえでの参考とする技術的助言をいただきます。

※¹：ケーソン岸壁等の陸側の平場をコンクリート板で覆った構造

※²：ケーソン部は安全性が確認できたため、立ち入り制限を一部解除済み

■日 時：令和7年10月24日（金）10：30～

■場 所：明石商工会議所 7階大ホール
（兵庫県明石市大明石町1-2-1）

※交通アクセスはこちらを御覧ください

<https://www.akashi-cci.or.jp/pages/44/>

■取 材：・会議は非公開で行いますが、報道関係者に限り会議の冒頭（議事に入るまで）のみ傍聴（カメラ撮り）可能です

・委員会終了後、記者ブリーフィングを行います

【時間】会議が終了次第開始（12：10頃開始予定）

【場所】明石商工会議所 7階大ホール

・傍聴（冒頭カメラ撮り）及び記者ブリーフィングを御希望の報道関係者の方は、「別紙2」の取材申込要領に基づき、メールでお申込みください

■その他：・これまでの委員会開催履歴は、こちらを御覧ください

<https://www.kkr.ml.it.go.jp/himeji/kaigan/taisakukentou/index.html>

・立ち入り制限の一部解除については、こちらを御覧ください

<https://www.kkr.ml.it.go.jp/himeji/kisya/2025/rirsjh00000069ov-att/20250423kisyahappyou.pdf>

【添付資料】別紙1：大蔵・舞子海岸の空洞対策検討委員会 委員名簿

別紙2：取材申込要領

<取扱い>

<配布場所>兵庫県政記者クラブ、神戸市役所市政記者クラブ、明石市記者クラブ

<問合せ先>

国土交通省近畿地方整備局 姫路河川国道事務所

■副所長（河川） 城谷 吉彦 電話：079-282-8211（代表）

■工務第一課 課長 大谷 泰士

①ウェブサイト <https://www.kkr.ml.it.go.jp/himeji/>

②X（旧 Twitter） https://twitter.com/mlit_himeji

※「話そうはりま」は、皆さまと一緒に明日の播磨のまちづくりを考えていこうという私たちの姿勢です。



話そうはりま

大蔵・舞子海岸の空洞対策検討委員会 委員名簿

氏 名	役 職
佐藤 慎司	高知工科大学 システム工学群 教授
柴田 亮	国土交通省 国土技術政策総合研究所河川研究部 海岸研究室長
鈴木 高二朗	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 特別研究主幹
安田 誠宏	関西大学 環境都市工学部 都市システム工学科 教授

(五十音順、敬称略)

取材申込要領

「第3回 大蔵・舞子海岸の空洞対策検討委員会」の傍聴（冒頭カメラ撮り）・記者ブリーフィングを御希望される報道関係者の方は、下記のとおりメールでお申込みください。

メール件名	第3回 大蔵・舞子海岸の空洞対策検討委員会【傍聴希望】
本文	・氏名（ふりがな）： ・会社名： ・連絡先（電話、メールアドレス）： ・参加希望（下記のいずれかを記載してください） ①傍聴（冒頭カメラ撮り） ②記者ブリーフィング ③傍聴（冒頭カメラ撮り）と記者ブリーフィングの両方
送付先	<u>kkk-kk-kanri101【a】mlit.go.jp</u> ※【a】を@に変換して送信して下さい。

※取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外に使用しません

〆切り：10月22日（水）14:00 まで

<問合せ先>

国土交通省近畿地方整備局 姫路河川国道事務所

【電話：079-282-8211（代表）】

■副所長（河川）	しろたに 城谷	よしひこ 吉彦
■工務第一課 課長	おおたに 大谷	ひろし 泰士